



## エキスパート養成講座

今春開講した一般社団法人介護福祉指導教育推進機構が主催する新認定制度「第1回介護福祉教育エキスパート養成講座」の全3日間日程が、6月4日に終了した。

目的とした同講座は、事前に課題図書『介護福祉教育原論(日本医療企画)』を読んで(事前学習レポートを受講当日持参)、講師の話を聞き(座学講義)、これを受けて受講生同士が討議・発表(集合研修・グループワーク)を行い、その内容

## 転期に立つ経営の視座② 人材育成のために必要な 6つの学び

はやかわ・ひろし

経営コンサルタント。1991年に独立。介護事業に関する独自の調査に基づいたデータ分析を各誌・紙に発表。著書に『99の言葉の杖』(日本医療企画)、『早川浩士の常在学場』(筒井書房)、『介護人材創造塾』(筒井書房)、『介護保険改正に勝つ!経営』(年友企画)、『データで徹底分析 介護事業の最新動向と経営展望』(日本医療企画)など。

<http://www.hayakawa-planning.com>

ブログ: <http://ameblo.jp/hayakawa-planning/>

「介護職員初任者研修等の講師」や「施設・介護サービス事業所の教育・研修担当者」など、介護福祉分野の教育指導者に加えて経営者の参加も目立つなか、受講生の一人としてともに学ぶ機会を得た。人間性・社会性を磨くための教育ができる人材を育成することを

をまとめる(事後学習レポート作成)ことで、介護福祉教育の本質を学ぶという構成だ。わが国が直面する超高齢社会において、介護職員の「質の向上」と「人材の量的確保」が急務とされてはいるものの、人材の量的確保に目が向けられることが多く、介護

職員の質の向上については、十分に関心を持って取り組んでこなかったのではなからうか!

数年前に傘寿を迎えた講師の黒澤貞夫氏(同機構代表理事・日本生活支援学会会長)はこうした思いを抱きつつ、人材育成のために必要な6つの学びを示唆した。

- ① 介護の原点について学ぶ
- ② 介護を通して人間的に成長していくことを学ぶ
- ③ 介護の理論と実践の融合について学ぶ
- ④ 介護における生活の理念と人間への理解を学ぶ
- ⑤ 介護における人間の文化について学ぶ
- ⑥ 介護は人権思想を根拠としていくことを学ぶ

講師の多年にわたる人生経験と豊富な人文科学の知識に包まれた、下学上達\*1の滾る講座だった。

### 人の道に恃る行為

「なぜ(介護人材の)教育に人間性が求められるのでしょうか\*2と問われたら、どのように答えることができるであろう。

「人間性」とは、「人間としての本性のこと」であると辞書に記され

ているものの、「本性」を説明するのは容易なことではない。

しかし、「本性を暴露した」「本性を現した」などの熟語を引き合いに出してみると、その難しさから少しは解放されたような気がしたと感じる人は少なくない。

「人間性」も同じだ。

「人間性を疑う」「人間性を失う」などをたとえに用いることで、「人間性」の意味が漠然としていたとしても、これらの言葉を口にしそうな場面を思い起こせば、それなりの伝え方ができる人もいる。単語の一つひとつを知識としてではなく、慣用句を用いながら問いかけるだけで「考える力」が養われていくことになる。

また、「人間性」の何たるかについて切迫することは、自らの態度(癖)に与え続けてきた影響を垣間見る機会ともなる。

見透かされてしまう「人間性」は、良くも悪くも自らが育てあげた態度(癖)に左右する。

「人間性重視」の介護教育にとつて、「人の道に恃る行為」が御法度であることは自明の理。

心の駒の手綱さばきに腐心するトップは、門を叩くと良い。

\*1: 『99の言葉の杖』(日本医療企画、2013年、p144-145)

\*2: 『介護福祉教育原論』(日本医療企画、2014年、p86)